

## 報告書 SSH 夏季宿泊研修

日 程 ; 8月19日(月)~21日(水)

研修先 ; 京都大学理学部, 工学部, 総合博物館等

参加人数 ; 36名 中1 6名(男5, 女1), 中2 8名(男5, 女3), 中3 15名(男10, 女5)  
高1 3名(男1・女2), 高2 4名(男4)

引率教員 ; 田中, 内村, 久保田, 高司, 久野

### 【内容】

1日目 午前 ; 金光~京都(移動)

午後 ; 理学部(吉田キャンパス) 理学部 ; 依光 准教授  
ヨウ素時計反応(実習)及び講義

夜 ; 国際交流(吉田キャンパス) 工学部 ; 金 准教授  
留学生 8名参加(男6, 女2)

2日目 終日 ; 工学部(桂キャンパス)

共通 9:00~10:00 講義(橋梁について)

グループ①工学部地球工学科 白土 教授・八木 准教授

10:15~12:00 ペーパーブリッジ作成

12:00~13:00 昼食及び乾燥時間

13:00~14:00 ペーパーブリッジコンテスト

グループ②工学部機械工学科 榎木 教授・根 助教・中西 講師・堀口 助教

10:00~11:00 講義

11:15~12:45 実習及び体験

「レスキューロボットの遠隔操縦」

「体験ヘリコプターの飛行原理とヘリ模型を使った遠隔操縦体験」

「アイマークレコーダを用いた注視点計測実験」

共通 14:00~15:00 桂キャンパス見学 八木 准教授

(宿舎に帰ったのち夕食後まで夜まで発表準備等を行う)

夜 ; 宿泊施設において研修成果発表会(グループ or 個人)

3日目 午前 ; 京都大学(吉田キャンパス)見学

総合博物館, iPS細胞研究所等を見学

午後 ; 京都~金光(移動)

本研修においては、参加生徒は講義・実習に熱心に取り組むことができた。1日目の講義内容は酸化・還元、化学平衡等に関連する内容で少し難しかったようだ。留学生との交流では様々な質問等を英語で行い、多くのことを吸収しようという姿勢が見られた。また、2日目の工学部での研修では、多くの講義・実習を実施していただくことができ、生徒が特に興味・関心を持つ分野への参加となったこと、施設見学において様々な施設を見せて頂いたことで、将来この様な分野で研究を行いたいという生徒の増加につなげることができた。また参加生徒の多くは、京都大学への進学を希望する等有意義な研修となった。